

「兵庫県単位型緩和ケア研修会標準プログラム」

第1日目(A課程)

別紙1

開始時刻	終了時刻	時間	研修時間	項目	対応する開催指針の形式	講師	対応する開催指針の項目
				受付			
13:30	13:40	10分	10分 以上	プレテスト	プレテスト	堀木	
13:40	13:50	10分	10分 以上	緩和ケア研修会の開催に当たって		堀木	
13:50	14:35	45分	45分 以上	緩和ケア概論	講義	原(聡)	⑦ア 全人的な緩和ケアについての要点
14:35	14:45	10分		休憩			
14:45	16:15	90分	90分 以上	がん性疼痛	講義	高橋	① がん性疼痛の機序、評価及びWHO方式のがん性疼痛治療法の概略について ② がん性疼痛の治療法の実際について ⑦イ 放射線療法や神経ブロックの適応も含めた専門的な緩和ケアへの依頼の要点
16:15	16:30	15分		休憩			
16:30	18:20	110分	110分 以上	がん性疼痛事例検討(参加者の緊張に配慮した「アイスブレーキング」を適宜行う)	グループ演習/ ワークショップ	多田羅	③ア がん性疼痛を持つ患者の評価及び治療 ③イ がん性疼痛に対する治療と処方箋の実際の記載
18:20	18:25	5分		休憩			
18:25	19:55	90分	90分 以上	オピオイドを開始するとき	ロールプレイ/ ワークショップ	板倉	③ウ 医療用麻薬を処方するときの患者への説明についての演習
19:55	20:00	5分	5分 以上	ふりかえりとポストテスト	プレテストの解説	堀木	
20:00	20:10	10分		第2日目の説明・修了証A配布			

360分 以上

第2日目(B課程)

開始時刻	終了時刻	時間	研修時間	項目	対応する開催指針の形式		対応する開催指針の項目
				受付			
9:30	9:40	10分	10分 以上	プレテスト	プレテスト	堀木	
9:40	11:10	90分	45分 以上	呼吸困難	講義	原(聡)	④ 呼吸困難、消化器症状等の身体症状に対する緩和ケアについて
			45分 以上	消化器症状	講義	田中	④ 呼吸困難、消化器症状等の身体症状に対する緩和ケアについて
11:10	11:20	10分		休憩			
11:20	12:20	60分	60分 以上	コミュニケーション講義	講義	辻本	⑥ がん医療におけるコミュニケーション技術について
12:20	13:20	60分		休憩			
13:20	15:30	130分	130分 以上	コミュニケーションロールプレイ(参加者の緊張に配慮した「アイスブレーキング」を適宜行う)	ワークショップ	辻本 山本	⑥ア・イ ワークショップによる患者への悪い知らせの伝え方についての検討及び演習
15:30	16:30	60分	60分 以上	精神症状	講義	辻本	⑤ 不安、抑うつ及びせん妄等の精神症状に対する緩和ケアについて
16:30	16:40	10分		休憩			
16:40	17:40	60分	50分 以上	地域連携と治療・療養の場の選択	講義	堀木	⑦ウ がん患者の療養場所の選択及び地域連携についての要点 ⑦エ 在宅における緩和ケア
17:40	17:50	10分	10分 以上	ふりかえりとポストテスト	プレテストの解説	堀木	
17:50	17:55	5分		修了証B配布		平塚	
17:55	18:00	10分		休憩			
18:00	18:30	30分		特別講演		多田羅	

410分 以上

770分 以上

(テスト時間を含む総講義時間) 720分以上

※A課程、.B課程の各単位項目は固定とする。各課程内での講義の順番は各研修会の企画責任者の判断で入れ替え可能とする。